

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	モデルリペアー硬化液
SDS管理番号	MDP1006-2
供給者の会社名	株式会社モリタデンタルプロダクツ
住所	栃木県大田原市下石上1382番地11
担当者	化学物質管理責任者
電話番号	0287-29-2221
ファクシミリ番号	0287-29-2031
供給者管理番号	OEJ4-06

推奨用途及び使用上の制限：瞬間接着剤用硬化促進剤で瞬間接着剤以外には効果無し。

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】

物理化学的危険性

エアゾール 区分1

健康に対する有害性

急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 区分4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分3
水生環境有害性 長期(慢性) 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類できない、区分に該当しない。

【GHSラベル要素】

絵表示またはシンボル

炎、感嘆符



注意喚起語

危険

危険有害性情報

極めて可燃性の高いエアゾール(H222)
高压容器：熱すると破裂のおそれ(H229)
強い眼刺激(H319)
吸入すると有害(H332)
呼吸器への刺激のおそれ(H335)
眠気又はめまいのおそれ(H336)
水生生物に有害(H402)
長期継続的影響によって水生生物に有害(H412)

注意書き

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。(P211)
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
目の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

施錠して保管すること。(P405)
 日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)
 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って産業廃棄物として
 廃棄すること。(P501)

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : 瞬間接着剤用硬化促進剤(Accelerator)

成分	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・労安法)	CAS RN®
① シクロペンタン (労安法該当)	70～80	(3)-4166	287-92-3
② ヘキサン (PRTR法、労安法該当)	2.2	(2)-6	110-54-3
③ N,N-ジメチルアニリン (労安法該当)	1未満	(3)-114	121-69-7
④ アミン類 (労安法に該当するものを含む)	1未満	非公開	非公開
⑤ LPG(ブタン 65wt% その他 35wt%) (労安法該当)	20～30	(9)-1697	68476-85-7

この組成の正確な含有量や成分名等は、営業上の秘密に該当するため、非公開としています。

TSCA登録の有無 収載
 EINECS No. 収載

4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移し、保温して安静に保つ。速やかに医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 石けん水で十分に洗う。皮膚に炎症を起こした場合は、医師の診断を受ける。
 眼に入った場合 : 清浄な水で最低15分間洗浄した後、すぐに医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合 : 多量の水又は塩水を飲ませた後、ただちに医師の診断を受ける。無理に吐かせないこと。揮発性液体なので、吐き出させるとかえって危険が増す。但し、意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 吸入…頭痛、吐き気、嘔吐、麻酔作用(し眠、昏睡、めまい、意識障害)
 皮膚…発赤
 眼…発赤、痛み
 経口摂取…腹痛、めまい、し眠、吐き気、咽頭痛、嘔吐、意識障害。
 応急処置をする者の保護に必要な注意事項 : 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 医師に対する特別な注意事項 : 症状にあわせて処置すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素。
 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
 火災時の特有の危険有害性 : 引火性の高い液体及び蒸気。極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。加熱により容器が爆発するおそれがある
 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。又、周囲の設備等は散水して冷却する。消火作業は風上から行う。燃焼によりNOxが発生するので、風下の者を避難させる。
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防処置 : 消火作業の際には呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 作業の際には、必ず適切な保護具(手袋、防護マスク、ゴーグル等)を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風下の人を避難させる。
 環境に対する注意事項 : 流出した商品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように

注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合、土砂、ウエスなどに吸着させ出来る限り密閉式の空容器に回収する。 大量の場合、土砂などで流れを止め、安全な場所に導いて火花の出ないシャベルなどで密閉式の容器に回収し、下水などに排出されないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 炎や火気の近くで使用しないこと。
 技術的対策 : 火気厳禁。取扱場所周辺は、臭気が滞留しないように換気に配慮する。
 安全取扱い注意事項 : 臭気が低いところに滞留しやすいので吸引式排気設備を床面に近い所に設置する。容器の栓は必要な時のみ開栓し、常時密栓しておく。
 接触回避 : 第1類及び第6類との接触を避ける。
 保管 : 高温にすると破裂の危険性があるため、直射日光の当たるところや火気等の近くなど温度が40℃以上になる所には置かないこと。その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定める事に従う。
 安全な保管条件 : 安全な容器包装材料 : スプレー缶

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 : 日本産業衛生学会 ACGIH
 Nブタン 500ppm 1,000ppm (TLV-STEL)
 シクロペンタン 未設定 600ppm (TLV-TWA)
 管理濃度 : 未設定
 設備対策 : 局所排気装置などの換気設備を設置する。取扱場所近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確化する。十分に換気すること。
 保護具 : 換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。
 呼吸用保護具 : 耐油性手袋、ポリエチレン製手袋、ゴム手袋等を着用する。
 手の保護具 : 側板付き普通メガネ、ゴーグル型メガネなどを必ず着用する。
 眼、顔面の保護具 : 必要に応じポリエチレン製前掛けなどを着用する。
 皮膚及び身体の保護具

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : エアゾール(高圧状液体)
 色 : 無色透明～淡黄色透明
 臭い : 特異臭
 融点/凝固点 : 知見なし
 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 42～49.5℃ (原液)
 可燃性 : 知見なし
 爆発下限界および爆発上限界/可燃限界 : 上限9.8% 下限1.4% (原液)
 引火点 : -42℃ (タグ密閉式、原液)
 自然発火点 : 385℃ (原液)
 分解温度 : 知見なし
 pH : 知見なし
 動粘性率 : 知見なし
 溶解度(水) : 水に殆ど不溶
 オクターノール/水分配係数 : 知見なし
 蒸気圧 : 知見なし
 密度及び/又は相対密度 : 0.75MPa (20℃、原液)
 相対ガス密度 : 知見なし
 粒子特性 : 知見なし
 着火距離 : 75cm以上

10. 安定性及び反応性

反応性 : なし
 化学的安定性 : 通常条件では安定
 危険有害反応可能性 : 知見なし
 避けるべき条件 : 湿気、火気、直射日光、高温

混触危険物質 : 消防法により、第1類及び第6類との混載禁止。
 危険有害な分解生成物 : 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口) : 知見なし
 急性毒性(経皮) : 知見なし
 急性毒性(吸入:蒸気) : 知見なし
 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) : 区分4
 皮膚腐食性/刺激性 : 知見なし
 眼に対する重篤な損傷性/
 眼刺激性 : 区分2
 呼吸器感作性 : 知見なし
 皮膚感作性 : 知見なし
 生殖細胞変異原性 : 知見なし
 発がん性 : 知見なし
 生殖毒性 : 知見なし
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 知見なし
 誤えん有害性 : 知見なし

(注) 知見なしは、NITEの混合物データベースより事業者判断

12. 環境影響情報

生体毒性
 水生環境有害性 短期(急性) : 区分3
 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3
 残留性・分解性 : 知見なし
 生体蓄積性 : 知見なし
 土壌中の移動性 : 知見なし
 オゾン層への有害性 : 知見なし モントリオール議定書の付属書に列記された成分を含まない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、必須かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 引火性液体に関する一般的な注意による。少量の場合は、火気のない屋外でボタンを押し、噴射音が消えるまでガスを抜いてから捨てること。廃棄する場合は次のいずれかによる。おがくず、ウエス等に吸収させてNOx対策を有する焼却炉、又はNOx対策を有する産業廃棄物処理の認可を受けた業者に委託する。
 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去してから処分する。その他、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国連分類 : クラス2.1 (引火性高压ガス)
 国連番号 : 1950(内容積1000立方センチメートル以下の物)
 国内規則
 陸上輸送 : 消防法、高压ガス保安法に定められている運送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

注意事項 : 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。取扱及び保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項に従うこと。火気厳禁とする。
 消防法により、第1類及び第6類との混載禁止。

15. 適用法令

高压ガス保安法
 該当しない
 消防法
 危険物第4類第1石油類 危険等級II (非水溶性液体) (200L)
 労働安全衛生法
 施行令別表1-4 危険物・引火性の物
 第57条の1 (施行令第18条) 名称等を表示すべき危険物及び有害物

シクロペンタン
 ヘキサン
 ブタン
 第57条の2（施行令第18条の2）名称等を通知すべき危険物及び有害物
 シクロペンタン
 ヘキサン
 ブタン
 N, N—ジメチルアニリン
 化学物質管理促進法(PRTR法)
 第1種指定化学物質 ヘキサン
 航空法
 規則第194条 高压ガス
 船舶安全法
 危規則第2、3条危険物(高压ガス)
 毒劇法
 該当しない
 海洋汚染防止法
 有害液体物質Y類 シクロペンタン、ヘキサン

16. その他の情報

引用文献

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)GHS分類判定ラベル/SDS作成支援システム (VER3.0.21)
 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版
 国際簡潔評価文書(CICAD)
 一般社団法人日本化学工業協会発行「GHS対応ガイドライン」(2019年6月)

エアゾール缶表示事項

高压ガスを使用した可燃性の製品であり、危険な為下記の注意を守ること。

- ① 炎に向けて使用しないこと。
- ② ストーブやコンロなど火気の付近で使用しないこと。
- ③ 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- ④ 温度が40℃以上となる所に置かないこと。
- ⑤ 火の中に入れてないこと。
- ⑥ 使い切って捨てること。

その他

- ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。又、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
- ・ 全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願いいたします。
- ・ この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正される事が有ります。
- ・ 以前に取得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、すみやかに破棄してください。